

かいぼりを通して魚の体の作りを学ぼう

～タイのタイってなんだ?～

団体名 ヤマザキ動物看護大学
動物機能形態学研究室
代表者名 鯨岡 紗奈

① 事業内容

今年度は、八王子市長池公園が主体となって開催した、開園以来初となる“かいぼり”（11月4日、12月1日）に参加させていただき、「かいぼりを通して魚の体のつくりを学ぶ」ということをテーマにして、実物骨格標本を用いた展示レクチャーを企画した。11月23日の展示会ではタイのタイ骨標本だけでなく、今年度作製した野生動物の骨格標本も一緒に展示した。加えて、今年は魚をテーマにしたので、タイのタイ骨取り教室を企画した。

② 実施報告

11月4日のかいぼりでは様々な外来魚が採取できたが、透明標本の作製に時間を要するため、あらかじめ入手しておいた海産魚を含む魚47種について標本作製を進めておいた。

全員が初めてのかいぼり体験だったため、初めは思うように動けず、生き物の捕獲がうまくできなかった。しかし、かいぼり隊の方々に泥に足を取られた時の対処法を教えていただいたことで、徐々に泥の中で動ける範囲が広がり、ブルーギルなどの外来魚やアメリカザリガニなどの生き物を捕獲することができた。かいぼりに参加していた近隣の子どもたちとの交流も図れた。2回目のかいぼりでは泥を掻き出して堰を作り、石灰を撒いて最終処理を行った。



かいぼり作業の様子

11月23日に長池公園にて開催した「大学生による動物ホネホネ教室第4弾：かいぼりを通して魚の体の作りを学ぼう～タイのタイってなんだ?～」では魚をテーマとした展示レクチャーを行った。かいぼりの様子とタイのタイ・耳石標本を、魚種の科と目に分類して一覧にしたパネル、長池公園に生息する外来生物についてのパネルを作製して展示した。



展示会設営の様子

今回も昨年と同様、長池公園のご協力により、展示会準備期間には園内にポスターを掲示していただき、来館された方にはアンケートにご協力いただいた。特に透明標本は、学習の一環で訪れていた近隣の小学生や、演奏会で来ていたタンゴUOT 演奏団体の方々に好評だった。



展示会当日の様子



タンゴUOTの方々との集合写真

展示会は魚をテーマにしていたため、タイのタイ骨取り教室も予定していたが、当日は寒いうえに一日天候に恵まれず、来館者がほとんどいなかったため、やむなく開催を中止した。

③ 事業を実施した感想

初体験となるかいぼりは、自分たちが想像していたよりも体力が必要とされる作業だった。ボランティアに参加した子供たちや親御さん、その他の団体、学生の方々と、泥に埋もれなが

ら助け合うことによって団結力が高まった。かいぼり終了後には長池公園の職員の方から「最初はどうかと思いましたが、学生達の表情が柔らかくなり、楽しみながら泥漕ぎ、生き物捕獲に挑んで下さり、とても助かりました。イベントとしても大成功でした」という声を頂き、地域の方々と交流しつつ、公園に少しは貢献できたかと思われた。

大学生による動物ホネホネ教室 **大学コンソーシアム八王子**
The Consortium of Universities in Hachioji
(ヤマザキ動物看護大学学生による 動物骨格標本展示) 令和元年度学生企画事業補助金対象事業

かいぼりを通して魚の体の作りを学ぼう

～タイのタイってなんだ?～








標本展示期間: 11月15日(金)~12月2日(月)
9:00~17:00
 展示解説: 11月23日(土・祝日)10:00~15:00
 タイのタイ骨取り教室開催(午後、先着24名様)
 展示場所: 長池公園自然館展示室1
 問い合わせ: 042-678-4616 八王子市別所2-58
 長池公園自然館
 HP: <https://www.h-yugi.org/>
 主 催: ヤマザキ動物看護大学
 共 催: 八王子市都市公園指定管理者 ひとまちみどり由木

access



展示会の反省点として「標本ばかりが目立ってしまい、パネルをあまり見てもらえなかった」ということがあった。パネルの多さが原因で順路が曖昧になり、逆走して見学していた小学生には内容が伝わらなかったため、どのパネルから見ても内容が理解でき、老若男女問わず興味を持ってもらえるような展示になるよう、もう一工夫必要だったと思われた。

最後に、本事業に対し助成頂いた、大学コンソーシアム八王子に深く感謝いたします。